

科学技術イノベーション政策推進のための有識者研究会
ヒアリングにおける意見表明 2011.11.16

総合科学技術会議議員 相澤益男

- 1 ヒアリング項目の前に
 - 1) 「総合科学技術会議の改組」という不健全な状態
 - 2) 総合科学技術会議本会議の開催状況について

- 2 科学技術イノベーション政策の「司令塔」をどのような組織とするか
 - 1) 科学技術政策から科学技術イノベーション政策への転換
 - ・ 第4期科学技術基本計画における政策転換
 - ・ 科学技術コミュニティー中心から経済、社会との関わり重視へ
 - ・ 科学技術イノベーションによる課題対応と価値創造
 - 2) 国家戦略としての科学技術イノベーション政策
 - ・ 国家戦略としての明確な位置付けと推進体制
 - ・ 関連する重要な国家戦略との連携
 - 3) 司令塔なのか総合調整なのか？
 - ・ 総合科学技術会議に付託された機能は、科学技術政策の総合調整
 - ・ 司令塔機能についての明確な位置付けがない
 - ・ 現実には、総合調整機能の発現にもさまざまな壁
 - 4) 司令塔となるためには、ミッションを明確にすべき。例えば、
 - ・ 府省横断的な国家施策の立案、策定
 - ・ 科学技術イノベーション予算の大枠取り、配分の主導
 - ・ 各府省の個別施策については、総合調整
 - 5) 「司令塔」とするならば、政治のメッセージが必要
 - ・ 政治主導の根幹

以上の諸点を明確にした上で、組織の議論に進むべきではないか

- 6) 「司令塔」の位置づけにより、宇宙・海洋・IT・知財といった各施策推進のための会議体・組織との関係が自ずと決まるのではないか
- 7) 予算編成への関与も、「司令塔」に位置付けが密接に関わる
韓国国家科学技術委員会の新体制が参考になる
- 8) PDCA サイクルについては、「司令塔」の位置づけに関わらず、抜本的な体制整備が必要

9) 新組織の想定

- ・構成については、総理、閣僚、有識者が原則ではないか
- ・科学技術政策担当大臣の位置づけが重要

- ・政務三役レベルの府省連携体制

- ・新組織内の運営体制
科学技術イノベーション戦略協議会（仮称、基本計画）等

- ・事務局体制

- ・シンクタンク機能組織

3 科学顧問を置くべきか。置く場合にはどのような役割を担うか。

1) 科学的助言の必要性

- ・平常時と非常時、分野別と全体俯瞰
- ・今回、注目されたのは、非常時に全体を俯瞰できる科学的助言
- ・平常時においても、全体を俯瞰できる科学的助言は必要
- ・総理と科学顧問の信頼感が重要。米国、英国の例。

2) 国民に対する科学技術スポークスマンとしての役割

3) 各府省の政策形成及び実施にどのように関与すべきか

4) どのような組織で、どのような位置付けか、何人必要か

5) どのような指揮命令系統となるか

6) 科学顧問のサポート体制は

7) どのような人物像を想定すべきか。どのように人選するか。

8) 各施策推進のための会議体との関係

3 その他、科学技術イノベーション政策推進体制に望まれること

- ・国際対応